

秋田栄養短大×スーパー「ナイス」 今月いっぱい販売 豆類やごまを使用

腸活意識 プリン開発



秋田栄養短大(秋田市)とスーパー運営のナイス(同市)は、豆類とゴマを使ったスイーツ「まめまめぱりん」を共同開発した。ナイス全店で販売されている。開発に携わった同短大1年の村上春奈さんと牛口結愛さんは「時間をかけて考えた、こだわりの商品。甘すぎず幅広い年代の方が食べやすいスイーツになっている。ぜひ味わってほしい」と話している。

まめまめぱりんは、白花豆や黒豆、豆乳、黒ゴマなどを使用。豆の風味とゴマの香ばしさが広がり、滑らかな口溶けになっている。腸内環境を整える食物繊維が豊富で、女性の健康をサポートする大豆やイソフラボンや、健康と美容を支えるセサミンなどの抗酸化成分も含まれている。

共同開発は、秋田栄養短大生が地域住民の健康をサポートできる商品を企画、販売し、地域活性化を目指す取り組みの一環。手作りスイーツを販売するナイスと商品化に取り組んだ。「健康に配慮した見栄えするおいしいスイーツ」をテーマに、タンパク質、カルシウム、食物繊維から1つ以上取り入れることを条件にした。

アイデアを考案した村上さんは、体の内側から健康をサポートできる「腸活」に焦点を当て、相性が良い豆類とゴマを使用。子どもや高齢者が食べやすいようにプリンにした。

甘すぎず滑らかな口溶けにするため、豆乳と黒ゴマの配合に苦労したという。2人は「自分たちが考案した商品が店頭に並ぶのを見て自信になった。今後は、栄養価はもちろん、彩り良くさまざまな視点で考えた献立作りに生かしたい」と話した。1個279円(税抜き)。販売は今月いっぱいの予定。(板橋美羽)

(令和7年11月19日(水)秋田魁新聞から一部抜粋)

